



名古屋大須ロータリークラブ

WEEKLY REPORT

NO 903



超私の奉仕

SERVICE Above Self

2005~2006年度

R.I. 会長

カール・ヴァルヘルム

ステンハマール

<本年度クラブ会長方針>

「チャレンジ」

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 草野 勝彦 URL <http://www.nagoya-osu.org> Email office@nagoya-osu.org
 幹事 鬼頭 茂成 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337
 事務局 460-0008 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル 6F

ロータリー理解推進月間

第1049回例会

於 ローズコートホテル

2006年1月26日(木)

会員 69名

出席計算数66名中 53名出席

出席率 80・30%

前々回出席率 93・94%

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 松本 哲朗
 ピアノ演奏 電板 玲子

表彰

(財)ロータリー米山記念奨学基金

感謝状 米山功労クラブ 第30回

第3回 米山功労者

マルチプル 盾 メダル付 感謝状

川畑 博敬さん

吉田 憲一さん

田崎 雅三さん

第2回 米山功労者

マルチプル 感謝状

堀田 泰造さん

加藤 正樹さん

木村 光徳さん

前田 隆久さん

小澤 幸男さん

第1回 米山功労者

柴岡 正将さん

鈴木 洋さん

湯山 淳三さん

ロータリー財団

ポールハリスフェロー

佐藤 彰さん

杉本 英夫さん

渡辺 剛男さん

委員長伝達

岡部 快園さん

国際ロータリー第2760地区

2006~2007年度

諮問委員会 委員

地区研修リーダー

拡大委員会 カウンセラー

地区研修委員会 委員長

地区指名委員会 委員

住田 正夫さん

国際ロータリー第2760地区

2006~2007年度

国際奉仕委員会 委員

浅野 彰さん

国際ロータリー第2760地区

2006~2007年度

RJW地区委員

杉浦 令淑さん

国際ロータリー第2760地区

2006~2007年度

インターネット委員会

副委員長

浅井 隆宣さん

国際ロータリー第2760地区

2006年度

米山奨学生選考委員



水仙



米山功労者とポールハリスフェローの皆様



次年度地区役員の皆様

ニコボックス

神野さん、新沼さん、卓話よろしく。

草野 勝彦 鬼頭 茂成

新しい年も、もう一ヶ月が過ぎかけて

してきます。

湯山 淳二

今月はBIRTH DAY

岡村 隆徳

お久しぶりの例会です。

尾上 昇

初孫が産まれました。

内藤 明

たいくつですが、卓話お聞き下さ

い。

神野 邦利

先口(夜間例会)は、ありがうござ

いました。
 渡辺 剛男
 コンパ優勝しました。
 吉田 明夫
 寒いですね。
 田崎 雅二

会長挨拶
 草野 勝彦
 今日。
 「寒いですね」が言葉になる位大

変寒いですがお元気でしょうか。インフルエーザが流行する警報が出ました。インフルエーザに気をつけて下さい。

「ここの週間はライブドアの事件がニュースの中心です。お金がすべてという考え方にはついていけない気がしますが、古いのでしょうか。」



草野会長

先回の例会では、素晴らしい井原さんの歌声と、オオスシガースの歌を聴かせていただきました。今日は、新入会員の神野さんのお話と前会長の新沼さんのお話を楽しみております。

今日の挨拶をさせていただきます。

新入会員卓話

「鉄の雑学」

神野 邦利

鉄鉱石と石灰石及びコークスを混ぜ溶融して鉄鉄といつものを製造し、さらに精錬したものを鉄鋼といいますが、鉄1t造るのに鉄鉱石1.5t石灰が1t必要です。

弥生時代から鉄器の用が始まり、古墳時代に普及し今に至るほどの長い歴史があります。この明治の中頃まで



神野邦利さん

「ただら吹き」といって砂鉄と木炭を原料として、足で踏んで空気を送るというを用いて鉄が作られていました。安ん、堅く溶かして型に鑄込むこともできる圧延して棒状にも板状にも管状にもするものが出来た為、用途が広く、鉄鋼の切りくずや、使い古して用の無くなったくずでも回収され再生され、無限にリサイクル出来る究極の物質といえます。

特性は他の物質を「少量混ぜる事により材質を大きく変化させること」が出来、薄くても強度の強い鉄板とかさびにくい鉄とか伸び縮みする鉄とかさまざまな研究が行われていました。

寒い時期に「ゴルフの時などで皆さんが使っている使い捨てカイロは、鉄粉がさびる時に出る熱を利用したものです。」

結構身近にある金属が鉄です。少しでも今回を機会に関心を持って頂けましたら幸いです。

会員卓話

「労働市場の現状」

新沼 操



菜の花

予定卓話者の都合により、なぜか私の方に回って来ました。

15分と言った限られた時間帯ですので詳しくはお話出来ませんが、全国で一番元気のあるこの愛知県での労働者派遣についてお話ししたいと思います。

今、企業の成長は、企業競争力で計られる時代に入りました。その企業の競争力の源は人であり、人です。

企業価値を高めるのも人であり、人です。しかし、企業も労働者も時代と共に変化し企業内における人は、必ずしも正社員とは限りなくなってきました。終戦後には、労働者を保護する

事を目的に職業安全法が施行され、企業内で働く人は全て正社員の時代でありましたが、徐々に働く人の意識も変わり、契約社員・パート・アルバイト・嘱託等々、勤労者の労働方法も変化してまいりました。そして、平成元年に労働者派遣法が施行されてからは企業の雇用体系も変わりました。



新沼 操さん

総務省2005年発表のデータですが、1993年2月は413万人の勤労者の内20.8%が非正規職員でしたが、2004年2月には490万人の内31.3%が非正規職員へと大きく変わってきました。過去10年間で約10ポイント上昇したこの状態が継続すれば、近い時期に企業内での正社員と非正社員の比率もイーブンになるだろうと予測する人もいます。

これから長く企業活動をされる皆様は、現状の労働市場さらにはこれから5年10年後の労働市場を考えた時、私見ではありますが、自社の企業規模や戦略に対し採用・雇用よりも、

いろいろな調達方法を考える事が最適かと思われれます。長期的に見れば一時期な「コストは高くなりますが、無駄な在庫的要素が少なく、リアルタイムで供給する事でトータルではコストの最小化と生産性の最大化を計ることができると思われます。」

このように時代の変化と共に企業経営の基となる人も人的資源と考へ、適用の仕方考へる事も企業発展への一つの方法かも知れません。

私共の企業は技術集約型企業として一時期成果評価の仕組みを考へ実施致しましたが、ユーザーの仕事内容により短期業績と中期業績が必ずしも一致せず、又個人の業績と部署の業績も一致しないと言ふ事から一部個人評価を残しながら部署ごとの業績評価に変えつつ雇用安定と定着を計っています。

企業は、人・モノ・金・情報といわれていますが経営資源をリアルタイムで最適化する事によつて企業競争力を高める戦略は益々重要になると思われ、企業内には正社員と非正社員の総合マネージメントが必要と思われれます。私見を述べて終わります。



オオスシンガーズ
総会及び懇親会
平成18年2月8日(水)
午後7時から
別館 まるやま

今週のインタビュー

渡辺 剛男



☆ロータリークラブは渡辺さんの人生にとつてどのような位置づけですか？

「異業種交流の場、そして自分自身を高めて行く為の勉強の場です。」

☆わたなべ旅館さんはユニークな企画とかでよくメディアでも拝見しますが、今後何か新しい企画等方向性を考へますか？

「日本文化シリーズ(敬称)をやりたいと思つています。現在考案中です。」

☆生きててよかったと思ふ瞬間は、
「オートバイ仲間(ハーレタビッドソンクラブ)とツーリングしている時です。」

2月9日(木) 例会の「案内 speak out day

ブリテン委員会

川口 小折・黒柳 一男・大原 敏止